



2021年5月17日

各 位

会 社 名 株式会社大気社  
代表者名 代表取締役社長 加藤 考二  
(コード番号 1979 東証第1部)  
問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長  
中島 靖  
(TEL 03-5338-5051)  
(URL <https://www.taikisha.co.jp/>)

### (訂正)「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

本日公表いたしました「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部訂正すべき箇所がありましたので、下記のとおり訂正いたします。訂正箇所には、下線を付しております。なお、数値データについては、訂正はありません。

#### 記

#### 1. 訂正の理由

「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後、記載の一部に誤りがあることが判明したため、これを訂正するものであります。

#### 2. 訂正の内容

添付資料30ページ

##### 【訂正前】

(前略)

取締役 来住 昌介

(中略)

(注) 新任取締役候補者 来住 昌介、水本 伸子の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

##### 【訂正後】

(前略)

取締役 来住 晶介

(中略)

(注) 新任取締役候補者 来住 晶介、水本 伸子の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

以 上



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月17日

上場会社名 株式会社大気社 上場取引所 東  
 コード番号 1979 URL https://www.taikisha.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 考二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 管理本部長 (氏名) 中島 靖 (TEL) 03-5338-5051  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	202,548	△10.1	11,690	△24.3	12,287	△23.2	8,279	△9.3
2020年3月期	225,378	△0.0	15,439	10.0	15,991	6.0	9,132	3.3

(注) 包括利益 2021年3月期 16,748百万円(208.0%) 2020年3月期 5,437百万円(△19.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2021年3月期	円 銭 243.03	円 銭 —	% 7.2	% 5.5	% 5.8
2020年3月期	268.07	—	8.4	7.3	6.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 △65百万円 2020年3月期 △74百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2021年3月期	百万円 228,855	百万円 126,311	% 52.9	円 銭 3,552.69
2020年3月期	215,389	112,843	50.2	3,176.25

(参考) 自己資本 2021年3月期 121,033百万円 2020年3月期 108,209百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2021年3月期	百万円 973	百万円 △6,913	百万円 △1,435	百万円 50,670
2020年3月期	21,386	△877	△11,475	58,846

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 100.00	百万円 3,420	% 37.3	% 3.1
2021年3月期	—	30.00	—	60.00	90.00	3,078	37.0	2.7
2022年3月期(予想)	—	30.00	—	70.00	100.00		40.6	

(注) 配当金総額には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式に対する配当金(2020年3月期 13百万円、2021年3月期 12百万円)が含まれております。

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	92,000	12.8	2,300	△27.9	2,700	△27.3	1,700	△44.6	49.89
通期	218,000	7.6	12,700	8.6	13,500	9.9	8,400	1.5	246.56

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	35,082,009株	2020年3月期	35,082,009株
② 期末自己株式数	2021年3月期	1,013,823株	2020年3月期	1,013,573株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	34,068,329株	2020年3月期	34,068,618株

(注) 当社は、「株式給付信託(BBT)」を導入しており、期末自己株式数には、本信託に係る信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2021年3月期 136,400株、2020年3月期 136,400株)が含まれております。  
 また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の算定上控除する自己株式(2021年3月期 136,400株、2020年3月期 83,938株)に含めております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	108,667	△18.1	6,530	△20.1	10,690	△5.7	6,769	△11.5
2020年3月期	132,630	6.0	8,171	△4.3	11,333	△8.2	7,645	5.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	198.69		—					
2020年3月期	224.40		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	149,439	100,794	67.4	2,958.60
2020年3月期	145,603	91,588	62.9	2,688.38

(参考) 自己資本 2021年3月期 100,794百万円 2020年3月期 91,588百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,900	△2.5	2,400	△28.3	1,800	△33.7	52.83
通期	109,300	0.6	9,300	△13.0	7,100	4.9	208.40

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

・当社は、2021年5月20日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定であります。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(追加情報) .....	15
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	21
(重要な後発事象) .....	21
4. 個別財務諸表及び主な注記 .....	22
(1) 貸借対照表 .....	22
(2) 損益計算書 .....	25
(3) 株主資本等変動計算書 .....	27
(4) 個別財務諸表に関する注記事項 .....	29
(継続企業の前提に関する注記) .....	29
(追加情報) .....	29
5. その他 .....	30
(1) 役員の変動 .....	30
(2) 部門別受注工事高・完成工事高・次期繰越工事高明細表(連結) .....	31
(3) 部門別受注工事高・完成工事高・次期繰越工事高明細表(個別) .....	32

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により景気後退に陥りました。第1四半期では、各国政府による緊急対策として、外出禁止令や企業の操業停止、移動制限などによる経済活動の抑制が行われ、世界経済は大きく悪化しました。第2四半期に入ると、経済活動の再開により回復の兆しが見られました。その後は、新型コロナウイルスのワクチンの普及や各国政府の財政支援等により、世界各地で景気が改善傾向にあります。

当社グループにおける市場環境のうち国内市場では、ビル空調分野においては、第1四半期では緊急事態宣言などによる設備投資への影響が見られましたが、その後は回復に向かいました。一方、産業空調分野においては、景気悪化の影響や先行き不透明感の高まりから、各メーカーによる設備投資は慎重な動きが続きました。海外市場では、産業空調分野、自動車塗装分野ともに、各メーカーの設備投資は調整局面が続きました。

このような状況のもと、当社グループは中長期的な成長を目指し、以下の取り組みを推進してまいりました。

まず、資本提携による海外事業領域の拡大に向けた取り組みとして、2020年7月30日にインドにおいてクリーンルーム向けパネルの製造・販売会社Nicomac Clean Rooms Far East LLP（現・Nicomac Taikisha Clean Rooms Private Limited、以下「Nicomac社」）に出資し、連結子会社化しました。中長期的に経済成長が見込まれるインド市場において、高機能の空調設備を必要とする医薬品製造環境を中心に、同社の高品質なパネル製造、据付技術と当社の空調設備技術の融合により、同国のクリーンルーム建設市場への対応力強化を目指します。

なお、Nicomac社のみなし取得日を2020年9月30日としているため、同社の第1四半期、第2四半期の業績に関しては、当期に係る連結損益計算書及び連結包括利益計算書には含まれておりません。

次に、コア事業を基軸とした事業領域の拡大に向けた取り組みとして、植物工場事業のさらなる領域拡大・拡充を目的に、プラント建設から野菜の生産・販売まで一貫したソリューションを提供すべく、100%出資の子会社である株式会社ベジ・ファクトリーを設立しました。今回の子会社設立により、当社グループは野菜生産販売まで手掛ける総合アグリ事業者としての新たなブランド構築を目指します。

また、当社の付加価値の向上に向けた取り組みとして、塗装分野において、“塗着効率100%”を実現する自動塗装システム「i-ESTA100TE」をトヨタ車体株式会社と共同で開発しました。

従来の空気の中で塗料を微粒化していた塗装機の塗着効率が70%程度であったことに対し、新型の静電霧化塗装システムはエアーを使わず、塗料の微粒化と塗料粒子の車体への塗着に静電気のみを用います。これにより、従来難しいとされていた塗着効率100%を実現することができ、設備の簡略化・エネルギー削減に加え、環境負荷の低減が可能となりました。

このような状況のもと、当期における受注工事高は、国内、海外ともに減少し、2,004億69百万円(前期比11.7%減少)となり、うち海外の受注工事高は、883億28百万円(前期比13.7%減少)となりました。

完成工事高も、国内、海外ともに減少し、2,025億48百万円(前期比10.1%減少)となり、うち海外の完成工事高は、927億91百万円(前期比0.3%減少)となりました。

利益面につきましては、完成工事総利益は340億27百万円(前期比36億66百万円減少)、営業利益は116億90百万円(前期比37億49百万円減少)、経常利益は122億87百万円(前期比37億3百万円減少)、親会社株主に帰属する当期純利益は82億79百万円(前期比8億53百万円減少)となりました。

連結業績の推移

(単位：億円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
受注工事高	2,418	2,269	2,004
完成工事高	2,254	2,253	2,025
営業利益	140.3	154.3	116.9
経常利益	150.8	159.9	122.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	88.4	91.3	82.7

セグメントごとの業績(セグメント間の内部取引高を含む)は次のとおりであります。

環境システム事業

受注工事高は、海外ではタイを含む東南アジアなどで減少し、国内では産業空調分野において前期に大型案件の受注があったことによる反動減の影響もあり、前期を下回りました。完成工事高は、国内においてはビル空調分野、産業空調分野とも減少し、海外ではタイを含む東南アジアで減少したことから、前期を下回りました。

この結果、受注工事高は、1,355億18百万円(前期比15.6%減少)となりました。このうちビル空調分野は、459億10百万円(前期比3.9%減少)、産業空調分野は、896億7百万円(前期比20.5%減少)となりました。完成工事高は、1,340億58百万円(前期比14.8%減少)となりました。このうちビル空調分野は、409億52百万円(前期比25.5%減少)、産業空調分野は、931億6百万円(前期比9.1%減少)となりました。セグメント利益(経常利益)につきましては、111億92百万円(前期比27億1百万円減少)となりました。

塗装システム事業

受注工事高は、北米などで減少したことから、前期を下回りました。完成工事高は、国内で減少したものの、北米、欧州など海外で増加し前期を上回りました。

この結果、受注工事高は、649億51百万円(前期比2.2%減少)となりました。完成工事高は、684億97百万円(前期比0.7%増加)となりました。セグメント利益(経常利益)につきましては、9億11百万円(前期比19億3百万円減少)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当期末の流動資産は前期末に比べ2.1%減少し、1,653億87百万円となりました。これは受取手形・完成工事未収入金等が46億86百万円増加し、現金預金が55億66百万円、有価証券が15億円、未成工事支出金が12億81百万円それぞれ減少したことなどによります。

当期末の固定資産は前期末に比べ36.7%増加し、634億68百万円となりました。これは投資有価証券が82億88百万円、退職給付に係る資産が39億30百万円、のれんが33億28百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、当期末の資産合計は前期末に比べ6.3%増加し、2,288億55百万円となりました。

### (負債)

当期末の流動負債は前期末に比べ7.5%減少し、869億19百万円となりました。これは支払手形・工事未払金等が55億73百万円、完成工事補償引当金が3億61百万円それぞれ減少したことなどによります。

当期末の固定負債は前期末に比べ81.2%増加し、156億25百万円となりました。これは繰延税金負債が43億24百万円、長期借入金が28億16百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、当期末の負債合計は前期末に比べ0.0%減少し、1,025億44百万円となりました。

### (純資産)

当期末の純資産合計は前期末に比べ11.9%増加し、1,263億11百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が58億60百万円、利益剰余金が48億59百万円、退職給付に係る調整累計額が27億18百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が6億10百万円減少したことなどによります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

### (キャッシュ・フローの状況)

当期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ81億75百万円減少し、506億70百万円(前期末は588億46百万円)となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少などにより減少したものの、税金等調整前当期純利益の計上やたな卸資産の減少などにより、9億73百万円の資金増加(前期は213億86百万円の資金増加)となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フローの状況)

投資活動によるキャッシュ・フローは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入などにより増加したものの、連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の取得による支出や有形及び無形固定資産の取得による支出が有形及び無形固定資産の売却による収入を上回ったことなどにより、69億13百万円の資金減少(前期は8億77百万円の資金減少)となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フローの状況)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入が長期借入金の返済による支出を上回ったことなどにより増加したものの、配当金の支払や非支配株主への配当金の支払などにより、14億35百万円の資金減少(前期は114億75百万円の資金減少)となりました。

(4) 今後の見通し

今後の世界経済は、足元においては、新型コロナウイルスの新たな変異株の発生による感染の再拡大などのリスクがあり、先行きは引き続き不透明感が残っているものの、ワクチンの普及や各国財政支援等により、回復傾向にあります。

当社グループにおける市場環境につきましては、国内においては、オフィスビル需要は当面緩やかに縮小する可能性があるものの、旧耐震基準のビルの建て替え・リニューアル、再開発等のニーズは存続するため、長期的には底堅く推移すると考えています。また、医薬品メーカーなどによる新規設備投資が見込まれています。一方、海外においては、製造業の牽引役の一つである電子部品メーカーによる第5世代移動通信システム（5G）や自動車の電装化に合わせた投資が継続すると見ております。

また、乗用車メーカーに関しては、北米・欧州などでは更新投資、中国では増産投資が見込まれており、設備投資の回復が期待されます。

このような状況のもと、次期の連結業績の見通しは以下のとおりであります。

(単位：億円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前期比
売上高	2,025	2,180	154
営業利益	116	127	10
経常利益	122	135	12
親会社株主に帰属する 当期純利益	82	84	1

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準を採用する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。



3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	57,626	52,059
受取手形・完成工事未収入金等	96,726	101,413
有価証券	3,500	2,000
未成工事支出金	3,097	1,816
材料貯蔵品	358	679
その他	7,979	8,068
貸倒引当金	△329	△649
流動資産合計	168,958	165,387
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	8,632	8,035
機械、運搬具及び工具器具備品	11,002	11,720
土地	2,038	1,772
その他	703	553
減価償却累計額	△11,884	△11,931
有形固定資産合計	10,493	10,150
無形固定資産		
のれん	755	4,084
顧客関連資産	—	1,389
その他	2,824	2,976
無形固定資産合計	3,580	8,450
投資その他の資産		
投資有価証券	24,388	32,677
繰延税金資産	655	1,026
退職給付に係る資産	5,181	9,111
その他	2,187	2,100
貸倒引当金	△55	△48
投資その他の資産合計	32,357	44,866
固定資産合計	46,430	63,468
資産合計	215,389	228,855

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	57,623	52,050
短期借入金	6,460	6,588
未払法人税等	1,481	1,607
未成工事受入金	14,342	14,200
完成工事補償引当金	836	475
工事損失引当金	289	403
役員賞与引当金	116	63
その他	12,772	11,528
流動負債合計	93,924	86,919
固定負債		
長期借入金	1,952	4,769
繰延税金負債	4,497	8,821
役員退職慰労引当金	51	40
役員株式給付引当金	109	171
退職給付に係る負債	1,706	1,507
その他	305	315
固定負債合計	8,622	15,625
負債合計	102,546	102,544
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,455	6,455
資本剰余金	5,058	5,058
利益剰余金	90,842	95,701
自己株式	△2,593	△2,594
株主資本合計	99,762	104,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,376	14,237
繰延ヘッジ損益	△0	△3
為替換算調整勘定	372	△237
退職給付に係る調整累計額	△302	2,416
その他の包括利益累計額合計	8,447	16,412
非支配株主持分	4,633	5,277
純資産合計	112,843	126,311
負債純資産合計	215,389	228,855

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
完成工事高	225,378	202,548
完成工事原価	187,683	168,521
完成工事総利益	37,694	34,027
販売費及び一般管理費		
役員報酬	894	870
従業員給料手当	8,911	8,538
役員賞与引当金繰入額	116	63
退職給付費用	534	560
役員退職慰労引当金繰入額	15	12
役員株式給付引当金繰入額	109	61
通信交通費	1,227	823
貸倒引当金繰入額	△62	201
地代家賃	1,539	1,603
減価償却費	1,947	2,084
のれん償却額	92	638
その他	6,928	6,878
販売費及び一般管理費合計	22,254	22,336
営業利益	15,439	11,690
営業外収益		
受取利息	358	291
受取配当金	635	593
保険配当金	124	145
不動産賃貸料	109	100
その他	221	483
営業外収益合計	1,450	1,613
営業外費用		
支払利息	174	173
売上割引	160	101
不動産賃貸費用	23	27
為替差損	385	330
貸倒引当金繰入額	4	213
持分法による投資損失	74	65
その他	75	104
営業外費用合計	898	1,016
経常利益	15,991	12,287

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
固定資産処分益	58	618
投資有価証券売却益	447	—
段階取得に係る差益	—	61
特別利益合計	506	680
特別損失		
固定資産処分損	83	425
減損損失	97	359
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	0	0
のれん償却額	455	—
特別損失合計	637	784
税金等調整前当期純利益	15,860	12,184
法人税、住民税及び事業税	4,636	3,755
法人税等調整額	1,560	△243
法人税等合計	6,197	3,512
当期純利益	9,663	8,671
非支配株主に帰属する当期純利益	530	392
親会社株主に帰属する当期純利益	9,132	8,279

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	9,663	8,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,465	5,860
繰延ヘッジ損益	0	△3
為替換算調整勘定	147	△546
退職給付に係る調整額	△891	2,758
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	6
その他の包括利益合計	△4,225	8,076
包括利益	5,437	16,748
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,001	16,245
非支配株主に係る包括利益	436	503

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,455	7,244	84,984	△2,476	96,208
当期変動額					
剰余金の配当			△3,274		△3,274
親会社株主に帰属する当期純利益			9,132		9,132
自己株式の取得				△450	△450
自己株式の処分		116		333	449
連結子会社株式の取得による持分の増減		△2,303			△2,303
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△2,186	5,858	△117	3,553
当期末残高	6,455	5,058	90,842	△2,593	99,762

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	11,842	△0	164	572	12,578	4,862	113,649
当期変動額							
剰余金の配当							△3,274
親会社株主に帰属する当期純利益							9,132
自己株式の取得							△450
自己株式の処分							449
連結子会社株式の取得による持分の増減							△2,303
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,465	0	208	△874	△4,131	△229	△4,360
当期変動額合計	△3,465	0	208	△874	△4,131	△229	△806
当期末残高	8,376	△0	372	△302	8,447	4,633	112,843

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,455	5,058	90,842	△2,593	99,762
当期変動額					
剰余金の配当			△3,420		△3,420
親会社株主に帰属する当期純利益			8,279		8,279
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	4,859	△0	4,858
当期末残高	6,455	5,058	95,701	△2,594	104,620

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	8,376	△0	372	△302	8,447	4,633	112,843
当期変動額							
剰余金の配当							△3,420
親会社株主に帰属する当期純利益							8,279
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,860	△3	△610	2,718	7,965	644	8,609
当期変動額合計	5,860	△3	△610	2,718	7,965	644	13,468
当期末残高	14,237	△3	△237	2,416	16,412	5,277	126,311

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	15,860	12,184
減価償却費	2,167	2,362
のれん償却額	548	638
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△100	304
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	50	△400
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△112	114
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△11	△10
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	109	61
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△242	△97
受取利息及び受取配当金	△993	△884
支払利息	174	173
段階取得に係る差益	—	△61
持分法による投資損益 (△は益)	74	65
固定資産処分損益 (△は益)	24	△193
投資有価証券売却損益 (△は益)	△447	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	7,852	△4,096
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△311	1,050
未収入金の増減額 (△は増加)	205	△16
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,054	△6,558
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△193	△209
未払消費税等の増減額 (△は減少)	748	423
預り金の増減額 (△は減少)	452	△550
未払費用の増減額 (△は減少)	△104	△29
その他	△1,251	△622
小計	26,555	3,645
利息及び配当金の受取額	993	884
利息の支払額	△170	△173
法人税等の支払額	△5,992	△3,382
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,386	973



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,199	△4,071
定期預金の払戻による収入	4,067	3,023
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,086	△2,270
有形及び無形固定資産の売却による収入	44	824
投資有価証券の取得による支出	△5	△14
投資有価証券の売却による収入	499	—
投資有価証券の償還による収入	0	0
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の取得による支出	—	△4,290
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	311
子会社株式の条件付取得対価の支払額	△131	—
長期貸付けによる支出	△61	△54
長期貸付金の回収による収入	50	49
保険積立金の積立による支出	△0	△0
保険積立金の払戻による収入	—	1
長期前払費用の取得による支出	△19	△20
その他	△37	△400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△877	△6,913
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,959	565
長期借入れによる収入	1,378	4,601
長期借入金の返済による支出	△1,569	△2,814
リース債務の返済による支出	△62	△100
非支配株主への払戻による支出	△133	—
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△3,273	△3,418
非支配株主への配当金の支払額	△536	△267
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,316	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,475	△1,435
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48	△799
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,985	△8,175
現金及び現金同等物の期首残高	49,861	58,846
現金及び現金同等物の期末残高	58,846	50,670

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

今後の世界経済および当社グループにおける市場環境の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束の時期や内外経済に与える影響が見通せないため、先行きは引き続き不透明感が残っているものの、ワクチンの普及や各国財政支援等により、足元では回復傾向にあります。

このような状況の中2021年3月期と比較して、北米、欧州、中国の海外拠点を中心に設備投資の回復が生じるとの仮定のもと、のれんを含む固定資産の評価等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

### 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、設備工事別に事業部を置き、各事業部は取り扱う設備工事について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部を基礎とした設備工事別のセグメントから構成されており、「環境システム事業」及び「塗装システム事業」の2つを報告セグメントとしております。

「環境システム事業」は、主に一般事務所等に関連するビル空調設備及び工場等の生産設備や研究所等に関連する産業空調設備の設計・監理・施工並びにこれらに関連する資機材の製造・販売を行っております。

「塗装システム事業」は、主に自動車産業に関連する塗装設備の設計・監理・施工並びにこれらに関連する資機材の製造・販売を行っております。

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注1)	連結財務諸表 計上額 (百万円) (注2)
	環境システム 事業 (百万円)	塗装システム 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	157,374	68,003	225,378	—	225,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	3	6	△6	—
計	157,378	68,006	225,384	△6	225,378
セグメント利益	13,893	2,814	16,708	△716	15,991
セグメント資産	94,453	64,595	159,048	56,341	215,389
その他の項目					
減価償却費	739	1,447	2,187	△19	2,167
のれんの償却額	—	548	548	—	548
受取利息	175	187	363	△5	358
支払利息	1	155	157	17	174
持分法投資損失(△)	—	△74	△74	—	△74
持分法適用会社への投資額	—	545	545	—	545
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	510	1,038	1,548	701	2,250

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△716百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)△720百万円及びその他調整額3百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、受取配当金等であります。
- (2) セグメント資産の調整額56,341百万円には、セグメント間の債権債務の相殺消去等△2,742百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産59,083百万円であります。全社資産は、主に報告セグメントに配分していない現金預金、有価証券、有形固定資産、無形固定資産及び退職給付に係る資産等であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額701百万円は、各報告セグメントに配分していない建物・構築物、機械、運搬具及び工具器具備品、ソフトウェア等であります。
- (4) 事業管理上、セグメントに対する資産の配分基準と関連する収益及び費用の配分基準は異なる配分基準を用いております。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注1)	連結財務諸表 計上額 (百万円) (注2)
	環境システム 事業 (百万円)	塗装システム 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	134,051	68,497	202,548	—	202,548
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	0	7	△7	—
計	134,058	68,497	202,555	△7	202,548
セグメント利益	11,192	911	12,103	183	12,287
セグメント資産	110,608	67,985	178,593	50,261	228,855
その他の項目					
減価償却費	863	1,508	2,371	△8	2,362
のれんの償却額	170	467	638	—	638
受取利息	147	147	295	△4	291
支払利息	3	161	165	8	173
持分法投資損失(△)	△0	△64	△65	—	△65
持分法適用会社への投資額	13	517	531	—	531
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5,483	1,693	7,176	383	7,560

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額183百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)184百万円及びその他調整額△0百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、受取配当金等であります。
  - (2) セグメント資産の調整額50,261百万円には、セグメント間の債権債務の相殺消去等△2,797百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産53,059百万円であります。全社資産は、主に報告セグメントに配分していない現金預金、有価証券、有形固定資産、無形固定資産及び退職給付に係る資産等であります。
  - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額383百万円は、各報告セグメントに配分していない建物・構築物、機械、運搬具及び工具器具備品、ソフトウェア等であります。
  - (4) 事業管理上、セグメントに対する資産の配分基準と関連する収益及び費用の配分基準は異なる配分基準を用いております。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア		東アジア		インド (百万円)
		タイ (百万円)	その他の 東南アジア (百万円)	中国 (百万円)	その他の 東アジア (百万円)	
132,348	14,707	19,619	21,727	12,252	1,759	8,698

その他 (百万円)	合計 (百万円)
14,263	225,378

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

日本 (百万円)	タイ (百万円)	インドネシア (百万円)	中国 (百万円)	インド (百万円)	イタリア (百万円)
5,047	484	216	577	1,560	2,114

その他 (百万円)	合計 (百万円)
491	10,493

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア		東アジア		インド (百万円)
		タイ (百万円)	その他の 東南アジア (百万円)	中国 (百万円)	その他の 東アジア (百万円)	
109,757	19,697	16,267	19,072	13,319	2,649	5,488

その他 (百万円)	合計 (百万円)
16,296	202,548

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

日本 (百万円)	タイ (百万円)	インドネシア (百万円)	中国 (百万円)	インド (百万円)	イタリア (百万円)
4,758	515	208	506	1,794	1,818

その他 (百万円)	合計 (百万円)
548	10,150

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	報告セグメント			全社・消去 (百万円) (注)	合計 (百万円)
	環境システム事業 (百万円)	塗装システム事業 (百万円)	計 (百万円)		
減損損失	0	97	97	0	97

(注) 「全社・消去」は、遊休資産の減損によるものです。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

	報告セグメント			全社・消去 (百万円) (注)	合計 (百万円)
	環境システム事業 (百万円)	塗装システム事業 (百万円)	計 (百万円)		
減損損失	156	—	156	202	359

(注) 「全社・消去」は、遊休資産の減損によるものです。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	報告セグメント			全社・消去 (百万円)	合計 (百万円)
	環境システム事業 (百万円)	塗装システム事業 (百万円)	計 (百万円)		
当期末残高	—	755	755	—	755

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

	報告セグメント			全社・消去 (百万円)	合計 (百万円)
	環境システム事業 (百万円)	塗装システム事業 (百万円)	計 (百万円)		
当期末残高	3,419	665	4,084	—	4,084

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	3,176.25円	3,552.69円
1株当たり当期純利益	268.07円	243.03円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。
- 2 当社は、「株式給付信託(BBT)」を導入しております。株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めており、また、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
- 1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度136,400株、当連結会計年度136,400株であり、1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度83,938株、当連結会計年度136,400株であります。
- 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	112,843	126,311
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	4,633	5,277
(うち非支配株主持分)(百万円)	(4,633)	(5,277)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	108,209	121,033
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	34,068	34,068

- 4 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	9,132	8,279
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	9,132	8,279
普通株式の期中平均株式数(千株)	34,068	34,068

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	29,459	19,308
受取手形	459	302
電子記録債権	1,916	1,855
完成工事未収入金	59,528	62,691
有価証券	3,500	2,000
未成工事支出金	511	448
材料貯蔵品	142	135
前払費用	378	359
未収入金	1,923	2,409
その他	1,316	1,384
貸倒引当金	△19	△234
流動資産合計	99,117	90,660
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,364	4,532
減価償却累計額	△3,152	△2,149
建物（純額）	2,212	2,383
構築物	179	109
減価償却累計額	△135	△76
構築物（純額）	43	32
機械及び装置	1,039	1,011
減価償却累計額	△646	△692
機械及び装置（純額）	392	318
車両運搬具	0	1
減価償却累計額	△0	△0
車両運搬具（純額）	0	0
工具器具・備品	808	801
減価償却累計額	△630	△637
工具器具・備品（純額）	178	164
土地	1,408	1,105
建設仮勘定	201	79
有形固定資産合計	4,436	4,085
無形固定資産		
借地権	0	0
ソフトウェア	1,877	1,337
その他	1	1
無形固定資産合計	1,878	1,339

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	23,833	32,136
関係会社株式	9,681	14,432
出資金	0	0
従業員に対する長期貸付金	4	4
敷金及び保証金	1,262	1,265
長期前払費用	8	7
前払年金費用	5,374	5,502
破産更生債権等	0	0
その他	9	9
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	40,170	53,354
固定資産合計	46,486	58,778
資産合計	145,603	149,439
負債の部		
流動負債		
支払手形	6,234	4,693
電子記録債務	15,747	13,018
工事未払金	14,358	12,581
短期借入金	2,433	2,357
未払金	7,180	6,123
未払費用	685	611
未払法人税等	1,101	1,022
未成工事受入金	1,513	890
預り金	761	245
前受収益	5	6
完成工事補償引当金	258	184
工事損失引当金	133	193
役員賞与引当金	109	61
その他	589	746
流動負債合計	51,113	42,737
固定負債		
長期借入金	164	176
繰延税金負債	2,471	5,391
退職給付引当金	120	97
役員株式給付引当金	109	171
その他	35	71
固定負債合計	2,901	5,907
負債合計	54,014	48,645

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,455	6,455
資本剰余金		
資本準備金	7,297	7,297
その他資本剰余金	116	116
資本剰余金合計	7,413	7,413
利益剰余金		
利益準備金	1,613	1,613
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	0	0
情報化投資積立金	1,840	1,560
別途積立金	35,720	35,720
繰越利益剰余金	32,763	36,391
利益剰余金合計	71,937	75,285
自己株式	△2,593	△2,594
株主資本合計	83,212	86,559
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,376	14,237
繰延ヘッジ損益	△0	△3
評価・換算差額等合計	8,376	14,234
純資産合計	91,588	100,794
負債純資産合計	145,603	149,439

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
完成工事高	132,630	108,667
完成工事原価	110,663	88,998
完成工事総利益	21,966	19,668
販売費及び一般管理費		
役員報酬	414	399
従業員給料手当	6,494	6,039
役員賞与引当金繰入額	109	61
退職給付費用	322	385
役員株式給付引当金繰入額	109	61
法定福利費	878	843
福利厚生費	347	362
修繕維持費	171	123
事務用品費	481	460
通信交通費	645	459
動力用水光熱費	48	45
調査研究費	332	377
広告宣伝費	105	148
貸倒引当金繰入額	△48	0
交際費	98	25
寄付金	5	5
地代家賃	931	974
減価償却費	886	860
租税公課	485	457
保険料	28	40
雑費	946	1,006
販売費及び一般管理費合計	13,795	13,138
営業利益	8,171	6,530
営業外収益		
受取利息	0	0
有価証券利息	0	0
受取配当金	2,139	2,799
保険配当金	123	145
不動産賃貸料	164	169
為替差益	—	81
技術指導料	1,272	1,359
貸倒引当金戻入額	1	—
その他	58	33
営業外収益合計	3,760	4,590
営業外費用		
支払利息	23	14
売上割引	160	101
不動産賃貸費用	48	48
為替差損	334	—
貸倒引当金繰入額	—	213
その他	31	52
営業外費用合計	598	430
経常利益	11,333	10,690

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産処分益	—	592
投資有価証券売却益	447	—
特別利益合計	447	592
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	72	420
減損損失	0	353
投資有価証券評価損	0	—
関係会社株式評価損	851	729
特別損失合計	924	1,502
税引前当期純利益	10,856	9,779
法人税、住民税及び事業税	3,198	2,530
法人税等調整額	13	480
法人税等合計	3,211	3,010
当期純利益	7,645	6,769

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		
					圧縮記帳 積立金	情報化投資 積立金	別途積立金	
当期首残高	6,455	7,297	—	7,297	1,613	0	2,120	35,720
当期変動額								
情報化投資積立金の 積立							200	
情報化投資積立金の 取崩							△480	
剰余金の配当								
当期純利益								
自己株式の取得								
自己株式の処分			116	116				
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	116	116	—	—	△280	—
当期末残高	6,455	7,297	116	7,413	1,613	0	1,840	35,720

	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
	その他利益剰 余金	利益剰余金 合計						
	繰越利益 剰余金							
当期首残高	28,112	67,566	△2,476	78,842	11,842	△0	11,841	90,684
当期変動額								
情報化投資積立金の 積立	△200	—		—				—
情報化投資積立金の 取崩	480	—		—				—
剰余金の配当	△3,274	△3,274		△3,274				△3,274
当期純利益	7,645	7,645		7,645				7,645
自己株式の取得			△450	△450				△450
自己株式の処分			333	449				449
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)					△3,465	0	△3,464	△3,464
当期変動額合計	4,650	4,370	△117	4,369	△3,465	0	△3,464	904
当期末残高	32,763	71,937	△2,593	83,212	8,376	△0	8,376	91,588

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		
						圧縮記帳 積立金	情報化投資 積立金	別途積立金
当期首残高	6,455	7,297	116	7,413	1,613	0	1,840	35,720
当期変動額								
情報化投資積立金の 積立							200	
情報化投資積立金の 取崩							△480	
剰余金の配当								
当期純利益								
自己株式の取得								
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△280	—
当期末残高	6,455	7,297	116	7,413	1,613	0	1,560	35,720

	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
	その他利益剰 余金	利益剰余金 合計						
	繰越利益 剰余金							
当期首残高	32,763	71,937	△2,593	83,212	8,376	△0	8,376	91,588
当期変動額								
情報化投資積立金の 積立	△200	—		—				—
情報化投資積立金の 取崩	480	—		—				—
剰余金の配当	△3,420	△3,420		△3,420				△3,420
当期純利益	6,769	6,769		6,769				6,769
自己株式の取得			△0	△0				△0
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)					5,860	△3	5,857	5,857
当期変動額合計	3,628	3,348	△0	3,347	5,860	△3	5,857	9,205
当期末残高	36,391	75,285	△2,594	86,559	14,237	△3	14,234	100,794

(4) 個別財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

今後の世界経済および当社グループにおける市場環境の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束の時期や内外経済に与える影響が見通せないため、先行きは引き続き不透明感が残っているものの、ワクチンの普及や各国財政支援等により、足元では回復傾向にあります。

このような状況の中2021年3月期と比較して、北米、欧州、中国の海外拠点を中心に設備投資の回復が生じるとの仮定のもと、関係会社株式の評価等に関する会計上の見積りを行っております。



## 5. その他

### (1) 役員の変動

#### ①代表者の変動

代表者の変動につきましては、2021年3月1日付「代表取締役の変動に関するお知らせ」をご参照ください。

#### ②その他の役員の変動 (2021年6月29日付予定)

##### 1. 新任取締役候補

取締役	長田 雅士	(現 専務執行役員環境システム事業部長)
取締役	来住 晶介	
取締役	水本 伸子	(現 株式会社IHI顧問)

##### 2. 退任予定取締役

取締役	村川 純一	(常務執行役員塗装システム事業部副事業部長兼海外統括部長)
取締役	向井 浩	(当社相談役就任予定)
取締役	稲川 信隆	(当社顧問就任予定)

##### 3. 新任監査役候補

監査役	松永 広幸	(現 経営企画本部長付)
-----	-------	--------------

##### 4. 退任予定監査役

監査役	小川 哲也	
-----	-------	--

(注) 新任取締役候補者 来住 晶介、水本 伸子の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

(2) 部門別受注工事高・完成工事高・次期繰越工事高明細表(連結)

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
受注工事高						
環境システム事業						
ビル空調	47,755	21.0	45,910	22.9	△1,844	△3.9
産業空調	112,767	49.7	89,607	44.7	△23,160	△20.5
小計	160,522	70.7	135,518	67.6	△25,004	△15.6
(うち海外)	(49,527)	(21.8)	(38,800)	(19.4)	(△10,727)	(△21.7)
塗装システム事業	66,387	29.3	64,951	32.4	△1,436	△2.2
(うち海外)	(52,784)	(23.3)	(49,528)	(24.7)	(△3,256)	(△6.2)
合計	226,909	100.0	200,469	100.0	△26,440	△11.7
(うち海外)	(102,312)	(45.1)	(88,328)	(44.1)	(△13,983)	(△13.7)
完成工事高						
環境システム事業						
ビル空調	54,963	24.4	40,952	20.2	△14,011	△25.5
産業空調	102,411	45.4	93,099	46.0	△9,312	△9.1
小計	157,374	69.8	134,051	66.2	△23,323	△14.8
(注)2,3	(38,964)	(17.3)	(37,290)	(18.4)	(△1,674)	(△4.3)
(うち海外)						
塗装システム事業	68,003	30.2	68,497	33.8	493	0.7
(注)2,3	(54,064)	(24.0)	(55,500)	(27.4)	(1,436)	(2.7)
(うち海外)						
合計	225,378	100.0	202,548	100.0	△22,829	△10.1
(うち海外)	(93,029)	(41.3)	(92,791)	(45.8)	(△237)	(△0.3)
次期繰越工事高						
環境システム事業						
ビル空調	45,605	26.1	50,563	29.3	4,958	10.9
産業空調	70,034	40.1	67,477	39.2	△2,557	△3.7
小計	115,639	66.2	118,041	68.5	2,401	2.1
(うち海外)	(34,495)	(19.8)	(36,939)	(21.4)	(2,444)	(7.1)
塗装システム事業	58,922	33.8	54,189	31.5	△4,732	△8.0
(うち海外)	(52,370)	(30.0)	(45,212)	(26.3)	(△7,158)	(△13.7)
合計	174,562	100.0	172,231	100.0	△2,330	△1.3
(うち海外)	(86,865)	(49.8)	(82,151)	(47.7)	(△4,713)	(△5.4)

(注)1 受注工事高・完成工事高・次期繰越工事高は、外部顧客に対する取引金額となっております。

2 前連結会計年度の環境システム事業の完成工事高157,374百万円とセグメント情報における環境システム事業の売上高157,378百万円との差異3百万円は、セグメント間の内部売上高であります。また、塗装システム事業の完成工事高68,003百万円とセグメント情報における塗装システム事業の売上高68,006百万円との差異3百万円は、セグメント間の内部売上高であります。

3 当連結会計年度の環境システム事業の完成工事高134,051百万円とセグメント情報における環境システム事業の売上高134,058百万円との差異6百万円は、セグメント間の内部売上高であります。また、塗装システム事業の完成工事高68,497百万円とセグメント情報における塗装システム事業の売上高68,497百万円との差異0百万円は、セグメント間の内部売上高であります。

4 在外連結子会社の期首繰越工事高の換算については、当連結会計年度の為替相場の変動による増減額を期首繰越工事高で修正しております。また、当連結会計年度において、Nicomac Clean Rooms Far East LLP(現・Nicomac Taikisha Clean Rooms Private Limited)を連結の範囲に含めたことに伴い、当連結子会社の手持工事高を期首繰越工事高に含めております。なお、修正後の当連結会計年度における期首繰越工事高は次のとおりであります。

環境システム事業	ビル空調	45,605	百万円		
	産業空調	70,969	百万円	(うち海外)	35,430 百万円)
	計	116,574	百万円	(うち海外)	35,430 百万円)
塗装システム事業		57,736	百万円	(うち海外)	51,184 百万円)
	合計	174,310	百万円	(うち海外)	86,614 百万円)

(3) 部門別受注工事高・完成工事高・次期繰越工事高明細表(個別)

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
受注工事高						
環境システム事業						
ビル空調	43,932	35.8	43,610	38.9	△322	△0.7
産業空調	63,546	51.7	50,949	45.5	△12,597	△19.8
小計	107,479	87.5	94,559	84.4	△12,920	△12.0
(うち海外)	(406)	(0.3)	(282)	(0.3)	(△124)	(△30.6)
塗装システム事業	15,365	12.5	17,512	15.6	2,147	14.0
(うち海外)	(5,033)	(4.1)	(3,995)	(3.6)	(△1,038)	(△20.6)
合計	122,844	100.0	112,072	100.0	△10,772	△8.8
(うち海外)	(5,440)	(4.4)	(4,277)	(3.9)	(△1,162)	(△21.4)
完成工事高						
環境システム事業						
ビル空調	52,147	39.3	37,797	34.8	△14,349	△27.5
産業空調	63,559	47.9	55,995	51.5	△7,564	△11.9
小計	115,707	87.2	93,793	86.3	△21,914	△18.9
(うち海外)	(211)	(0.2)	(311)	(0.3)	(99)	(47.0)
塗装システム事業	16,923	12.8	14,874	13.7	△2,049	△12.1
(うち海外)	(6,630)	(5.0)	(3,706)	(3.4)	(△2,923)	(△44.1)
合計	132,630	100.0	108,667	100.0	△23,963	△18.1
(うち海外)	(6,842)	(5.2)	(4,018)	(3.7)	(△2,824)	(△41.3)
次期繰越工事高						
環境システム事業						
ビル空調	43,924	49.7	49,736	54.2	5,812	13.2
産業空調	35,732	40.5	30,686	33.5	△5,046	△14.1
小計	79,656	90.2	80,423	87.7	766	1.0
(うち海外)	(201)	(0.2)	(172)	(0.2)	(△29)	(△14.5)
塗装システム事業	8,639	9.8	11,278	12.3	2,638	30.5
(うち海外)	(2,900)	(3.3)	(3,189)	(3.5)	(288)	(10.0)
合計	88,296	100.0	91,701	100.0	3,404	3.9
(うち海外)	(3,102)	(3.5)	(3,361)	(3.7)	(259)	(8.4)